

『鉱山研究』100 号原稿の募集

2025 年 3 月発行予定の 100 号の原稿を募集します。また鉱山研究会は「金属鉱山研究会」の 1973 年 11 月創立からかぞえて、今年 11 月で 50 年目になります。

(1) 記念号としては、研究会やご自身の研究や学習にとって、転機になった事柄について 1 頁に納めてください。また総頁を増やさないために『鉱山研究』の総目次、合宿・巡検、総会、例会、映像の会などの経過は掲載しません。可能ならばホームページに掲載します。

(2) 従来通りの①論説、②研究ノート、③古書、新刊案内、図書紹介など。

12 月 27 日 (金)『鉱山研究』100 号原稿締切

2025 年 3 月 17 日 (月)『鉱山研究』100 号発行・発送

投区要綱

内容は鉱山に関係するものであれば、分野を問いません。お手元にある資料や研究ノートの形式でもかまいません。

多くの方々の投稿をお願いします。

原稿はできればメールあるいは電子データで村田にお送りください。その際、原稿指定という作業の必要上、必ずプリントアウトした原稿と図版も同時に郵便で送ってください。わたしのほうでプリントアウトする手間と時間そして研究会の経費がかかりますので、必ずお願いします。

(1) の投稿についてはできれば 1 頁 1,638 字に納めてください。

(2) については、原稿は原則として見出し、図版を含めて 10 頁以内 (1 頁 1,638 字×10 頁)、字数は全て文字数に換算すると 16,380 字以内です。ただし、長いものは必要があれば数回にわけて掲載することも可能です。

■投稿締切：12 月 27 日 (金)、間に合わない場合は村田に相談してください。

■発行：2025 年 3 月 17 日（月）発送発行

■問合せ・送り先：村田 淳 〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

Phone ・ Fax：045-401-5259 メール：sunao-murata@asahinet.jp

ご意見やご希望を村田淳までおよせください。

例会報告者の募集

次回例会（12 月ないし 2025 年 1，2 月）で報告していただける方を募集します。

テーマは鉱山に関係があるものであればかまいません。金属鉱山、石炭鉱山、経済史、民俗、労働史、労働運動、あるいは鉱物、鉱床など様々な分野からの報告が会員の研究に役立つでしょう。

報告は非会員でもかまいません。

また、報告してほしいテーマや人物があれば、お知らせください。

【会場】東京都中央区立区民館（東京都区内）予定

【連絡先】村田 淳 〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

2024 年度運営経過と今後の予定

■行事回数 ①年次大会・例会 3 回（大会 197 198 199）（合計 4 回）
②見学会・巡検 1 回 ③映像の会 3 回（55 回 56 回 57 回） ④海外文献の会 5 回（参加者がなく休会中）

■刊行回数 ①『鉱山研究』100 号 2025 年 3 月 17 日発行 1 回

②『ニューズレター』No.126 127 128 129 号外（随時）

2024 年

4 月 27 日（土）2024 年度総会、

会場：東京都中央区立京橋プラザ 京橋区民館

参加者：5 人 寄付：1,225 円

第 55 回映像の会「蔵王鉱山の歴史と暮らし・労働運動」蔵王鉱山の歴史を語り継ぐ会制作 2023 年作成 上映時間：約 28 分

、研究報告

①高橋卓也「別子銅山の歴史的な環境影響評価～燃材と亜硫酸ガスに着目して」 ②村田 淳「米国、ネバダの木炭製造」

5 月 5 日（日）NL126 発行・メール発送（2024 年度総会・映像の会・研究報告）

6月5日印刷、10日発行『鉾山研究』99号発送（NL126 郵便会員同時）
（付録、会計報告、名簿、会費請求）
6月5日（火）～9日（金）MHA、Park City、Uta
7月13日（土）第197回例会 会場：京橋プラザ京橋区民館 参加者：
5人 報告：村田淳「箱根（深良）用水」
9月28日（土）第56回映像の会 劇映画『アギーレ～神の怒り』
会場：東京都中央区京橋区民館 参加者：3人 寄付：2,000円
9月6日（金）～8日（日）AMHC、Leonora(Kalgoorlie) WA
10月22日（火）NL127 印刷・発行（会費納入のお願い、100号原稿募
集、例会報告者募集、巡検案内ほか）
11月2日（土）～3（日）箱根（深良用水）巡検 参加者：4人（予定）
11月下旬 NL128 発行（57回映像の会案内、198回例会案内、『鉾山
研究』100号原稿締切案内ほか）
12月中予定（土）第198回例会（報告者募集中）
会場：東京都中央区立区民館予定
12月27日（金）『鉾山研究』100号原稿締切
2025年
2月中予定 第57回映像の会（上映作未定）会場：東京都中央区立区民
館予定
2月末予定 NL128 印刷・発行（総会案内ほか）
3月17日（月）『鉾山研究』100号発行・発送
4月中旬予定 2025年度総会
6月11日～16日 MHA年次大会 Gunnison, Colorado, U S A
9月中（金）～（日）AMHC開催予定

箱根用水（深良用水）巡検案内

■見学場所：行程順は日程参照

- ・深良用水展示室 裾野市市民文化センター内（市役所から車で10分）
- ・水門 東側（早川） 西側（深良）、芦ノ湖取水口から岩波まで用水
脇の道）

深良用水歩道行程（自家用車通行可。以下徒歩の場合の所用時間）
深良水門 →20分 湖尻峠 →20分 記念碑 →40分 第一発電所 →
20分 第二発電所 → 20分 第三発電所 → 25分 岩波

- ・先進坑道入口（可能ならば、坑道の構造確認）
- ・記念碑
- ・岩波 新川、黄瀬川合流点
- ・その他

■見学場所に関係する機関の連絡先

裾野市役所 裾野市佐野 1059 市役所代表：055 - 992 - 1059

芦ノ湖水利組合：電話：055 - 993 - 3607 裾野市観光協会：055 - 992 - 5005

■現地交通 今野所有自家用車

■日程：2024 年 11 月 2 日（土）～ 3 日（日）（1 泊 2 日）

◎集合時刻と場所：11 月 2 日（土）11 時 30 分裾野駅（御殿場線）

◎2 日（土）13:00 深浦用水展示室→13:30 用水路探索（岩波 新川、黄瀬川合流点）（2.0H）→16:00 宿泊場所 夕食 付近の居酒屋？

◎3（土）7:30 朝食 8:00 ホテル出発→ 車を利用して、岩波から深良用水発電所を経て記念碑、隧道の出口と用水取水口まで用水路の脇道をとところどころ徒歩で探索→東側（早川口水門）→解散場所まで車で移動

■宿泊：11 月 2 日（土）ホテルクーネルイン、 御殿場線岩波駅ソバ
電話 055-941-5205 宿泊料金朝食付き素泊まり、税込¥9,500

夕食：近辺の食堂・居酒屋 就眠前の意見交換会痔の酒、つまみ持参

■参加費 未定、裾野までの交通費と弁当代金は各自負担。宿泊、交通費ほかはかかった額を参加人数で案分

■解散時刻と場所：11 月 3（日）午後（昼食後、場所は相談）

■装備・服装：探索時ヘルメット着用、軍手、長袖上着、長袖シャツと長ズボン、アブがいる可能性あり、念のため防虫ネット、雨具（必携、降雨が予想される場合）、ステッキ（安全のため必要があれば）

■申込締切：10 月 4 日（土）現地交通手段の都合で締め切りましたが、車の手配と宿泊場所の確保ができれば考慮します。

■申込み、問合せ：村田淳 メール：sunao-murata@asahinet.jp

住所：221-0011 横浜市神奈川区神之木台 41-22

電話・FAX：(045)401-5259（携帯電話は使っておりません）

■参考資料と文献

地図

国土地理院 1/50000 地図、金峰山

国土地理院 1/25000 地図 裾野

山と高原地図 1 / 50,000 地図 箱根 昭文社

論説・研究・論文など

高倉テル『箱根用水の話』潮流社、1950 年

高倉テル『箱根用水』東邦出版社、1971 年

浜田進『箱根用水と宝暦治水問題』新人物往来社、1993 年 11 月

佐藤隆『箱根用水ができるまで』芦ノ湖水利権を考える会、1983 年

佐藤隆『箱根用水史～本締・その誤算と挫折の二十年』わかな書房、1979 年

勝俣正次『逆川事件～捏造された箱根用水事件の歴史』函南郷土史研究会、2016 年 4 月

小説

タカクラテル『箱根用水』理論社、新装版 1963 年 7 月

若山三郎『村をうるおした命の水～箱根用水をつくった人々の技術と熱意』PHP 研究所、1998 年 9 月

紙芝居・映画

箱根風雲録、原作：タカクラテル、前進座制作、1952 年

箱根用水、原作：タカクラテル、画：久米宏人